母親であることを手放した女――母親になると決心した女

豊かな自然に囲まれた鹿児島県長島町。一年前この町にやってきた茜(あかね)は、食堂でテキパキと働きながら、島の子どもたちの成長を見守り続けている。一方、夫とともに島の名産物であるブリの養殖業を営む五月(さつき)は、赤ん坊の頃から育ててきた7歳の里子・豊和(とわ)との特別養子縁組申請を控え、〝本当の母親〟になれる期待に胸を膨らませていた。

そんな中、行方不明だった豊和の生みの親の所在が判明し、東京のネットカフェで起きた乳児置き去り事件とその母親の名が浮かび上がる……。

7年前に何があったのか?

〝生みの親〟と〝育ての親〟がそれぞれ体験する、子どもと離れる辛さと、お母さんと呼ばれる歓び。彼女たちはそれらを分かち合うことができるのか? そして、島の子としてすくすくと育った豊和の未来は――。家族のあり方が多様化する時代に、改めて親子の絆を問いかける骨太なヒューマンドラマが完成した。

日本映画を支える実力派キャスト・スタッフが結集

茜役を演じるのは、『くちづけ』でブルーリボン賞主演女優賞を受賞し、映像、舞台、ナレーションやナビゲーターなど多方面にて活躍中の貫地谷しほり。五月役には『アレノ』で高崎映画祭最優秀主演女優賞を受賞、幅広い役柄で映画ファンを魅了する山田真歩。実力派の二人が、対照的な人生を歩んできた女性たちの深く複雑な愛情や葛藤をそれぞれひたむきに体現する。その他、五月の夫・優一役に永井大、その母親・ミエ役に木内みどり、町役場職員・秀幸役として川口覚が出演。物語の鍵を握る豊和役は、ロケ地・長島町でのオーディションで抜擢された演技初挑戦の小学4年生・松原豊和が演じる。

監督は『海辺の生と死』の越川道夫。現実社会でも後を絶たないDVや乳児遺棄、いまだに表立って議論されることが少ない不妊治療や養子縁組制度などの問題に正面から挑みながら、登場人物たちの心の機微をすくいとる演出によって、すべての世代・性別・立場の観客にあたたかな感動をもたらす普遍的な人間ドラマを作り上げた。

出演　貫地谷しほり　山田真歩　永井大　川口覚　松原豊和　木内みどり

監督　越川道夫

『海辺の生と死』『二十六夜待ち』

脚本　嶋田うれ葉

音楽　宇波拓

企画/原案　船橋淳

プロデューサー　橋本佳子

長島町プロデュース　小楠雄士

撮影監督　戸田義久

同時録音　森英司

音響　菊池信之

編集　菊井貫繁

美術プロデューサー　大倉謙介

アートコーディネーター　岡村正樹

衣装　田中美由紀

ヘアメイク　葉山三紀子

助監督　加藤まりこ

助監督　近藤有希

製作　長島大陸映画実行委員会

制作　ドキュメンタリージャパン

配給　コピアポア・フィルム

2019年／日本

133分／カラー

ビスタサイズ／5.1ch

©2019長島大陸映画実行委員会

夕陽のあと

yuhinoato.com

主　催／豊前市、豊前市男女共同参画講演会実行委員会

問合せ／豊前市総務部人権男女共同参画室　男女共同参画係

☎0979-82-8003

お申込みはこちらから